



3

おじいちゃん 大きいヤツは、おじいちゃんの親指ぐらいいも

あるかっこいい虫なんよ。

ほら、図鑑を見てごらん。

これがゲンゴロウ。

けんちゃん わあ〜！かっこいい！！

ねえねえ、早くつかまえにいこうよ！

おじいちゃん でもね、けんちゃん。

昔はいっぱいおったんじゃがお、

今はなかなかおらんのよ。

つかまえられたら、いいのお。

けんちゃん うん！！

それじゃあ、

田んぼの生きもの探険に、出発進行〜！！

ぬ  
く

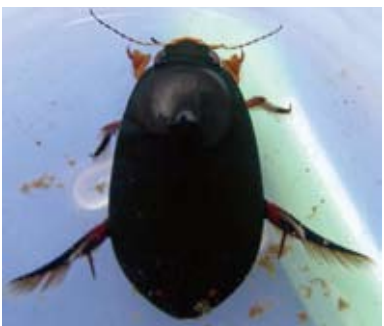
【解説】  
ゲンゴロウってどんな生きもの？

田んぼやため池などで暮らす肉食の甲虫（カブトムシの仲間）です。泳ぎや息つきが上手で、水中での生活に適した体をしています。また、飛ぶこともでき、水辺から水辺へと移動します。日本には100種以上のゲンゴロウの仲間が住んでいます。その中で、この紙芝居に登場するのは「ゲンゴロウ」という名前の種類で、体長が34〜42ミリメートルと、日本で一番大きなゲンゴロウの仲間です。他と区別するため「ナミゲンゴロウ」「オオゲンゴロウ」とも呼ばれています。

昔は田んぼの昆虫といえば、タガメがゲンゴロウが代表格で、人気もある昆虫でしたが、今ではどちらもほとんど見ることができないほどに減ってしまいました。



ゲンゴロウ



クロゲンゴロウ



コシマゲンゴロウ